

平成29年度 事業報告書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

東京都中央区築地3丁目11番6号
(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

平成29年度事業報告

I. 会員登録状況

1. ライセンス会員数（最終3月31日締め）

		H27年	H28年	H29年	H29年度計画	前年比	達成率
会員数	競技会員	15,086	15,187	14,991	15,200	99%	99%
	エンジョイ会員	3,009	3,064	2,756	3,300	90%	84%

2. 各種目のライセンス発行枚数（最終3月31日締め）

1) ロードレース **5,555枚**（昨年5,672枚）前年対比 **98%**

種目	区分	H26年	H27年	H28年	H29年	前年比
ロードレース	国際	837	840	845	872	103%
	国内	3,327	3,470	3,489	3,419	98%
	フルタイム	1,351	1,390	1,294	1,222	94%
	ジュニア	52	43	44	42	95%
	計	5,567	5,743	5,672	5,555	98%

2) モトクロス **1,665枚**（昨年1,715枚）前年対比 **97%**

種目	区分	H26年	H27年	H28年	H29年	前年比
モトクロス	国際A級	165	161	157	155	99%
	国際B級	387	366	355	350	99%
	国内A級	266	252	253	238	94%
	国内B級	552	537	543	534	98%
	ジュニア	371	375	356	347	97%
	PC	37	32	51	41	80%
	計	1,778	1,723	1,715	1,665	97%

3) トライアル **1,436枚**（昨年1,479枚）前年対比 **97%**

種目	区分	H26年	H27年	H28年	H29年	前年比
トライアル	国際A級	143	146	148	149	101%
	国際B級	365	373	381	380	100%
	国内A級	370	345	332	312	94%
	国内B級	558	577	611	584	96%
	ジュニア	5	9	7	11	157%
	計	1,434	1,446	1,479	1,436	97%

4) スノーモビル **133 枚** (前年 155 枚) 前年対比 **86%**

種目	区分	H26 年	H27 年	H28 年	H29 年	前年比
スノーモビル	A 級	75	79	71	66	93%
	B 級	86	68	72	58	81%
	ジュニア	16	12	12	9	75%
	計	177	159	155	133	86%

5) スーパーモト **347 枚** (前年 341 枚) 前年対比 **102%**

種目	区分	H26 年	H27 年	H28 年	H29 年	前年比
スーパーモト	A 級	213	213	212	217	102%
	B 級	130	112	129	130	101%
	計	343	325	341	347	102%

6) インデューロ **533 枚** (前年 436 枚) 前年対比 **122%**

種目	区分	H26 年	H27 年	H28 年	H29 年	前年比
インデューロ	国際	97	132	155	170	110%
	国内	198	262	281	363	129%
	計	295	394	436	533	122%

7) ピットクルー **8,170 枚** (前年 8,095 枚) 前年対比 **101%**

種目	H26 年	H27 年	H28 年	H29 年	前年比
ピットクルー	7,444	7,820	8,095	8,170	101%

8) 競技役員 **4,328 枚** (前年 4,420 枚) 前年対比 **98%**

種目	H26 年	H27 年	H28 年	H29 年	前年比
役員・講師	4,455	4,380	4,420	4,328	98%

3. 賛助会員

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	前年比
法人会員	57 件 (57 口)	59 件 (60 口)	48 件 (52 口)	53 件 (55 口)	51 件 (52 口)	96%
個人会員	1 件 (1 口)	1 件 (1 口)	1 件 (1 口)	0 件	0 件	

4. 年間プレス登録者

	ランク	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	前年比
プレス	A	76	73	70	78	74	95%
	B	16	12	18	15	23	153%
	合計	92	85	88	93	97	104%

Ⅱ. モーターサイクルスポーツ事業

1. MFJ 公認・承認競技会（講習会含む）の都道府県別申請状況

競技会申請数は公認競技会 462 大会（前年比 102%）承認競技会 89 大会（前年比 96%）合計 551 大会で申請数は前年比 101%。

地区	公認									承認								合計		
	RD	MX	TR	SN	SM	ED	講習会	走行会	公認計	RD	ミニバイク	MX	TR	SN	ED	行事	承認計	申請数	中止計	開催数
北海道	4	8	8	3	0	7	18	0	48	1	1	0	0	0	0	0	2	50	2	48
東北	6	11	15	1	2	2	19	1	57	2	8	1	6	0	6	0	23	80	0	80
関東	13	17	17	1	3	3	45	0	99	9	1	2	6	0	0	0	18	117	12	105
中部	9	9	15	0	3	5	26	2	69	10	4	0	9	0	1	0	24	93	2	91
近畿	0	8	11	0	1	0	10	0	30	0	0	1	2	0	3	0	6	36	0	36
中国	8	10	16	0	2	4	23	0	63	1	0	0	2	0	1	2	6	69	3	66
四国	0	7	8	0	0	0	2	0	17	0	0	0	0	0	1	0	1	18	0	18
九州	9	8	10	0	2	6	55	0	90	3	0	0	1	0	0	0	4	94	7	87
合計	49	78	100	5	13	27	198	3	473	26	14	4	26	0	12	2	84	557	26	531
前年比	111%	104%	94%	100%	100%	104%	116%	27%	105%	108%	82%	400%	87%	0%	57%	0%	90%	102%	108%	102%
2016	49	73	100	5	13	27	190	10	467	23	14	5	27	0	16	5	90	559	40	519
2015	44	75	106	5	13	26	171	11	451	24	17	1	30	0	21	0	93	545	24	521
2014	43	84	102	5	15	18	134	23	424	21	18	4	25	0	6	1	77	501	17	484
2013	45	89	104	5	19	14	131	16	423	16	27	15	25	1	10	1	95	518	19	499
2012	43	93	106	6	23	15	125	13	436	18	33	15	22	1	13	5	109	545	14	531

2. 競技会開催状況

1) ロードレース

(1) 世界選手権/特別競技会

（世界選手権はスポーツ庁・観光庁後援事業）

格式	開催日	大会名	観客数						前年比
			H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	
世選手権	7月27日～30日	鈴鹿8時間耐久ロードレース	105,000	109,000	111,000	121,000	124,000	128,000	103%
	10月13日～15日	MotoGP 日本グランプリ	59,438	61,097	70,271	85,403	88,472	89,501	101%
アジア選手権	6月3日～4日	鈴鹿大会	開催なし	19,000	18,100	12,000	17,700	19,000	107%

(2) 全日本選手権

文部科学大臣杯は高橋巧選手(JSB1000 ファン°)が獲得。全戦スポーツ庁・観光庁後援事業 ・全戦F I M公認国際競技会

	開催日	会場	観客数	JSB	G P 2	ST600	GP3	全日本 計	MFJカップ JP250	総合計
第1戦	4月9日	筑波	6,000		18	34	19	71	32	103
第2戦	4月23日	鈴鹿2&4	56,000	93				93		93
第3戦	5月14日	SUGO	5,100	36	21	31	21	109	33	142
第4戦	6月11日	もてぎ	12,900	35	20	32	25	112	31	143
第5戦	6月25日	オートポリス	5,540	34	19	34	17	104	31	135
第6戦	8月20日	もてぎ2&4	32,000	33				33		33
第7戦	9月10日	AP2&4	14,450	35				35		35
第8戦	10月1日	岡山国際	8,800	39	23	39	23	124	53	177
第9戦	11月5日	MFJ-GP 鈴鹿	28,000	33	23	32	25	113	57	170
合計			168,790	338	124	202	130	794	237	1,031
1大会平均			18,754	42	21	34	22	88	40	115
前年			20,986	42	26	36	25	97	57	137
前年対比			89%	101%	79%	94%	87%	91%	69%	84%

(3) 地方選手権 (ナショナル・インター) ・承認ロード競技会 (11月末現在)

地区	公認競技会				承認競技会			
	大会数	参加台数			大会数	参加人数		
		総台数	平均	前年比		総人数	平均	前年比
十勝	4	82	21	121%	5	150	30	100%
SUGO	5	180	36	73%	7	471	67	112%
筑波	4	278	70	100%	8	1,321	165	87%
もてぎ	4	356	89	118%	6	1,061	177	97%
鈴鹿	6	973	162	137%	15	1,322	88	95%
岡山	6	348	58	99%	10	571	57	108%
九州	7	213	30	68%	8	344	43	98%
2017 合計	36	2,430	68		59	5,240	89	
2016 合計	41	2,736	67		66	6,351	96	
2015 合計	32	1,551	48		59	5,828	99	
前年比	88%	89%	102%		89%	83%	92%	

(4) 承認ミニバイク

支部	承認ミニバイク			
	大会数	参加人数		
		総人数	平均	前年比
北海道	1	48	48	102%
東北	12	402	34	63%
関東	1	735	735	112%
中部	3	75	25	100%
中国	2	60	30	37%
H29 合計	19	1320	69	
H28 合計	17	1,450	85	
H27 合計	20	1,619	81	
前年比	85%	90%	81%	

2) モトクロス

(1) 全日本選手権

(最終戦はスポーツ庁・観光庁後援事業)

場所	開催日	観客数	台数	国際B級	国際A級		LMX	CX	J85	他
				Open	IA-1	IA-2				
九州	4月9日	5,130	238	85	21	44	38	14	36	
関東	4月23日	8,000	285	82	22	44	50	20	44	23
中国	5月21日	3,491	247	80	22	43	37	20	45	
SUGO	6月4日	4,350	246	79	21	45	45	14	42	
東北	7月16日	3,800	218	67	20	41	40	10	40	
SUGO	8月27日	2,600	228	65	21	39	44	15	44	
近畿	9月11日	6,313	240	67	23	39	43	26	42	
関東	10月8日	7,800	281	73	20	44	52	22	48	22
MFJGP	10月22日	4,500	269	80	23	49	48	19	50	
合計		45,984	2,252	678	193	388	397	160	391	45
平均		5,109	250	75	21	43	44	18	43	23
前年		5,771	278	83	22	45	46	25	46	23
対比		89%	90%	91%	97%	96%	96%	71%	94%	98%

(2) モトクロス全国大会 (スポーツ庁・観光庁後援事業)

開催日：平成29年8月18日(日) 総参加台数137台(昨年162台)

開催場所：広島県・世羅グリーンパーク弘楽園

	NA2	NAOPEN	NB2	NBOPEN	J85	J65	フイルド 50	Ladies	計
H29年		23		23	45	29	17		137
H28年	—	23	—	32	49	29	29	—	162
H27年	—	33	—	30	49	34	15	—	161
H26年	33	33	31	30	56	28	17	—	228

(3) 地方競技会 (ライセンス数は3月31日)

地区	年度	2017 地方選手権モトクロス			
		ライセンス	大会数	総参加人数	平均人数
北海道	H29年	219	8	928	116
	H28年	223	8	952	119
	前年比	98%	100%	97%	97%
東北	H29年	172	7	617	88
	H28年	184	7	673	96
	前年比	93%	100%	92%	92%
関東	H29年	470	10	1,341	134
	H28年	478	8	1,152	144
	前年比	98%	125%	116%	93%
中部	H29年	253	9	598	66
	H28年	268	9	690	77
	前年比	94%	100%	87%	86%
近畿	H29年	191	8	586	73
	H28年	206	9	732	81
	前年比	93%	89%	80%	90%
中国	H29年	134	8	451	56
	H28年	148	8	526	66
	前年比	91%	100%	86%	85%
四国	H29年	71	7	200	29
	H28年	69	6	228	38
	前年比	103%	117%	88%	76%
九州	H29年	155	6	431	72
	H28年	139	6	396	66
	前年比	112%	100%	109%	109%
全体	H29年	1,655	63	5,152	82
	H28年	1,715	61	5,349	88
	前年比	97%	103%	96%	94%

3) トrial

(1) 世界選手権

(スポーツ庁・観光庁後援事業)

格式	開催日	大会名	観客数					前年比	
			H24年	H25年	H26年	H27年	H28年		H29年
世界選手権	5月27/28日	Trial世界選手権 日本GP	11,500	15,000	16,000	18,000	14,500	16,200	112%

(2) 全日本選手権

	開催日	場所	観客数	台数	レディース	IB	IA	IA-S	併催
第1戦	3月12日	関東	2,600	131	4	72	40	14	1
第2戦	4月16日	近畿	2,100	146	4	76	47	14	5
第3戦	5月14日	九州	1200	104	4	44	39	14	3
第4戦	6月16日	中国	675	124	5	57	43	15	4
第5戦	7月16日	北海道	700	75	4	31	26	14	4
第6戦	10月8日	中部	2,900	141	7	73	44	14	3
第7戦	10月29日	東北	900	120	5	64	37	14	0
合計			11,075	841	33	417	276	99	20
平均			1,582	120	5	60	39	14	3
前年平均			1,410	129	5	67	41	16	2
前年対比			112%	93%	94%	89%	96%	88%	143%

(3) 地方選手権 (ライセンス数は3月31日)

地区	年度	2017年地方選手権トライアル			
		ライセンス	大会数	総参加	平均台数
北海道	H29年	40	7	177	25
	H28年	42	7	186	27
	前年比	95%	100%	95%	93%
東北	H29年	144	8	582	73
	H28年	144	8	643	80
	前年比	100%	100%	91%	91%
関東	H29年	382	8	753	94
	H28年	395	8	705	88
	前年比	97%	100%	107%	107%
中部	H29年	234	9	736	82
	H28年	254	9	736	82
	前年比	92%	100%	100%	100%
近畿	H29年	235	8	604	76
	H28年	244	7	633	90
	前年比	96%	114%	95%	84%
中国	H29年	156	10	644	64
	H28年	157	10	605	61
	前年比	99%	100%	106%	105%
四国	H29年	67	8	302	38
	H28年	63	8	294	37
	前年比	106%	100%	103%	103%
九州	H29年	178	9	620	69
	H28年	180	8	581	73
	前年比	99%	113%	107%	95%
全体	H29年	1,436	67	4,418	66
	H28年	1,479	65	4,383	67
	前年比	97%	103%	101%	98%

(4) 第30回トリアルGC

開催日：平成29年11月12日 場所：愛知県・キョウセイドライバーランド

	地区	会場	GC	オーバー50	レディース	レジェンド	人数計	地区対抗	
								チーム数	人数
H29年	中部	キョウセイ	66	10	4	5	85	3	9
H28年	近畿	湯浅	57	7			64	6	18
H27年	中国	灰塚ダム	48	4			52	3	15

4) スノーモビル

	地区	開催日	SA			SB			J	EJ	他	合計
			Super	S1	S2	S1	S2	S3				
第1戦	長野	2月4～5日	13	13	16	18	19		4			83
第2戦	真狩	2月11～12日	16	19	19	25	28		9	3		119
第3戦	士別	2月18～19日	16	18	20	22	25		7	6	2	116
第4戦	美瑛	2月25～26日	16	19	21	26	30		9	8		129
第5戦	青森	3月4～5日	14	17	19	21	23		6	6		106
		合計	75	86	95	112	125		35	23		553
		1大会平均	15	17	19	22	25		7	6		111
		前年平均	20	21	23	22	24	6	8	3	4	128
		前年対比	75%	81%	83%	100%	104%	0%	88%	200%	0%	86%

5) スーパーモト

(1) 全日本選手権

2017	開催日	場所	観客数	台数	S1 PRO	S1 OPEN	S2	併催エリア	承認
第1戦	4月30日	桶川	1200	84	17	20	19	28	
第2戦	5月21日	HSR九州	300	47	9	13	13	12	
第3戦	6月18日	エビス	300	74	15	16	16	27	
第4戦	7月2日	夕カタ	300	64	11	19	20	14	
第5戦	8月6日	弘楽園	300	51	13	14	12	12	
第6戦	8月20日	SUGO	650	61	15	15	10	21	
第7戦	10月28日	美浜	200	63	18	17	12	16	
第8戦	10月29日	美浜	200	70	19	21	13	17	
第9戦	11月12日	茂原	600	68	15	18	11	25	
		合計	4,050	582	132	153	126	172	
		1大会平均	450	65	15	17	14	19	
		前年平均	483	66	13	19	13	20	
		前年対比	93%	98%	113%	89%	108%	96%	

(2) エリア選手権を下記地区で開催。

エリア	大会数	総台数	平均	前年比
東日本	5	133	27	87%
中日本	4	79	20	143%
西日本	4	48	12	71%
H29 合計	13	260	20	
H28 合計	11	228	21	
H27	12	280	23	
前年対比	118%	114%	95%	

6) インデューロ

	開催日	場所	合計台数	全日本				承認
				インターナショナル		ナショナル		
				A	B	N	W	
第1戦	5月7日	テゾヤス<広島>	120	18	30	66	6	0
第2戦	6月18日	コスモスポーツランド<中部>	148	21	27	94	6	0
第3戦	9月16日-17日	日高<北海道>	159	22	28	65	7	37
第4戦	11月25日-26日	SUGO<宮城>	143	23	24	82	8	6
合計			570	84	109	307	27	43
1大会平均			143	21	27	77	7	22
前年平均			157	22	24	57	7	48
前年対比			91%	98%	117%	133%	101%	30%

※2017年より出場台数制限（最大定員）を設定し、併催承認クラスの開催を今後減らす方針

3. 代表選手派遣事業

1) モトクロス・オブ・ナーションズ（国別対抗世界選手権）

選考委員会を構成し、代表選手のノミネートを審議したが、ノミネート選手・チームの承諾が得られず、体制が構築できなかった為、派遣見送りとなった。

2) トライアル・デ・ナシオン（国別対抗世界選手権）

・トライアル委員会にて選手の選抜を行い男子チームが参戦。

開催日：平成29年9月23日～24日 開催国：Baiona（スペイン）

日本代表チーム（（藤波貴久選手、小川友幸選手、黒山健一選手）

順位：19か国中3位

3) アジア・カップ・オブ・ロードレーシング（アジア国別対抗戦）

	車両	開催日	開催国	参加国	台数	順位
第1戦	エキサイター-150 Y	10月7, 8日	タイ	7	14	3
第2戦※1		10月14, 15日	台湾			
第3戦※2	ギクサー-150 S	11月18, 19日	インド	5	9	4

※1 開催日の都合により参加せず ※2 入国査証の関係で2か国参加できず

4. 2017Moto Awards(全日本選手権ランキング表彰式典)

全日本ランキング表彰式典を平成29年12月16日（土）に東京・大手町の日経ホールにて開催。

Ⅲ. 補助金事業

1. (公財) J K Aオートレース
 - 1) 国内競技規則書(12月発行平成30年版) 交付申請額: 7,897,000円
交付確定額: **2,297,000円**
 - 2) 2017MFJ Moto Awards(ランキング表彰式) 交付申請額: 3,123,000円
審査の結果採用されず
2. 独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」
平成29年度ドーピングコントロール 交付申請額 4,195,000円
交付確定額 **1,878,000円**

Ⅳ. モーターサイクルスポーツの普及振興

1. 普及強化事業

1) MFJロードレースアカデミー in Motegi (12期目)

- 主催: (一財)日本モーターサイクルスポーツ協会
会場: 栃木県・ツインリンクもてぎ 期間: 平成29年4月~9月
内容: ・会期は年間6回(10日間)
・年間参加(18歳以下)=**9名**(昨年7名)
・スポット参加(年齢問わず): **30名**(昨年50名)。
年間講師: 校長:坂田和人 インストラクター: 小林龍太
1Dayスクールインストラクター: 原田哲也、青山博一、関口太郎、小山知良、大久保光、浦本修充
協賛企業: 日本特殊陶業、ブリヂストン、アライヘルメット、本田技研工業、岡田商事、デイトナ

2) MFJトライアルアカデミー(11期目)

- ・ 主催: (一財)日本モーターサイクルスポーツ協会
- ・ 会場: 茨城県・真壁トライアルランド(10回)
- ・ 対象: アカデミー1クラス … 初心者(若手)、シニア、女性を対象とした育成プログラム。
アカデミー2クラス … NB上級~IB初級レベルを対象としたレベルアッププログラム
- ・ 受講者: **年間10名**(昨年13名)
※本年度もスポット参加受付
- ・ 期間: 平成29年9月26日~平成30年1月まで(計10回)
- ・ 車両: 各自持ち込み(レンタル制度なし)
- ・ 協賛企業: アライヘルメット(年間参加者に対し、TR用ヘルメットをご協賛) 河和田屋印刷

3) MFJ親子バイク祭り(7年目)

今期は体験試乗とレースを分けて以下のような実施。

- ・ 平成29年3月東京モーターサイクルショーでキッズバイク体験試乗を実施、延べ238名乗車
- ・ キッズバイク体験からポケバイ/ミニバイク誘引のガイドブック作成、大阪/東京MCショーで配布
- ・ 平成29年4月9日全日本筑波にて体験試乗会実施、雨天中止
- ・ 9月17日モトチャンプ全国大会生駒に親子バイククラスを併催予定だったが台風にて中止(12月17日生駒で代替えレースを行い25名参加)

4) トライアルレディースプログラム(追加事業)

トライアルの女性ライダー普及・全日本レディースクラス参加増を目的としてスクールを開催

- ・ 開催日:平成 29 年 8 月 20 日(日) 場所: 京都府、亀岡トライアルランド
- ・ 講師: 西村垂弥 小玉絵里加 山本昌也 小谷 徹
- ・ 参加 22 名

5) MFJ 東北復興応援ツーリング 2017

東北復興の応援を目的とする標記ツーリングイベントを試験的に開催した。

- 目的: 東北の被災した東北沿岸部を訪れ、人と触れ合い消費行動をすることで復興の一助となることを目的とする。
- ・ ツーリング期間: 平成 29 年 8 月 1 日～8 月 31 日 ・対象地域: 青森・岩手・宮城・福島
- ・ 登録者: 380 名 (ROOTEE 無料登録)
- ・ 期間内の主なイベントの来場者

【宮城・福島エリア: 復興応援大使:平忠彦】 / FIM ツーリング委員長視察		
8 月 5 日(土)	東北復興応援ミーティング in SUGO	83 名
"	閑上さいかい市場	43 名
8 月 6 日(日)	浄土平レストハウス ダンロップ・ツーリングステーション	60 名
"	東北復興応援ミーティング in よつくら港	74 名
"	エビスサーキット・福島モトフェス	12 名
【青森・岩手エリア: 復興応援大使:風間深志】		
8 月 26 日(土)	三沢まつり	19 名
"	青森県立航空科学館	24 名
8 月 27 日(日)	初さんまうにアヅビ帆立かきホヤわかめ祭	144 名
	合計	459 名

主催: (一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会

公認: 国際モーターサイクリズム連盟 (F I M) FIM Ride Green 連携事業

後援: 観光庁、復興庁、宮城県、岩手県、福島県、青森県、一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本二輪車普及安全協会、一般社団法人全国二輪車用品連合会、全国オートバイ協同組合連合会等

6) プロモーション事業の外部委託

以下項目について (有) クライムと業務委託契約を結び活動を実施。

(1) プロモーション事業

① 映像製作/露出 (GMP 社)

- ・ 全日本ロードレース・モトクロス・トライアル・MFJ カップ 全戦を収録し BS12 にて放映 (レース 6 日後)
- ・ Web 動画配信「Web ロックオン」と「You Tube Live」にて全日本ロードのライブ動画配信 (配信後アーカイブ)
- ・ 無料インターネット TV (Abema Fresh TV) にて BS12 番組と同じ内容を放映 (スマホ視聴可)
- ・ アジア向けに日本文化やスポーツを紹介する「Waku Waku Japan」にてアジア 7 개국で放映予定
- ・ 無料動画サイト「GYAO!」にて配信 (約 1 か月後) 以後アーカイブ

② オフィシャルホームページ等広報 (YUP 社)

- ・ オフィシャルホームページ「Superbike.jp」にて情報発信
- ・ メルマガ配信・写真等素材提供
- ・ 東京モーターサイクルショーでの PR 活動

- ・ シリーズ概要パンフ・プロモーション映像等の製作
- ③ファンクラブの運営（ライディングハート社）
- (2) MFJ 会員へのメリット供与
 - ・ 協力企業とのアライアンスによる会員メリットの提供
バイクプロス（バイク用品ネット通販）、キズキレンタルサービス、ルートインホテルズ、ZuttoRide
- (3) レース以外の会員獲得する活動
 - ・ ジムカーナ団体（J A G E）との連携の為会合、競技会視察等実施
 - ・ 同種目会場として埼玉スタジアム調整池の使用について要望。
- (4) クライムは受託事業を推進するため下部に共同事業体を組織
名称：MFJ マーケティング
構成：モーターマガジン社、クレタ、オフィスとらくしゅん、三栄書房、バイクプロス、造形社、エアタイム、自然山通信、共同印刷

2. 安全・環境・健康に関する活動

1) ドーピングコントロール

ドーピングコントロールを下記のように実施し、違反者は無かった。

種目	格式	実施日	場所	区分	検査数
ロードレース	全日本	6月25日	オートポリス	MFJ 事業	4
モトクロス	全日本	7月16日	藤沢	MFJ 事業	4
トライアル	全日本	10月29日	SUGO	MFJ 事業	4

2) サーキットアドバイザーへの補助

各サーキットのスクールイベント時安全面の指導を行うサーキットアドバイザー制度促進の為、補助を行った。

3) インストラクターセミナー開催

- ①開催日：平成 30 年 1 月 27 日 MFJ 会議室 13 名受講
- ②開催日：平成 30 年 2 月 3 日 MFJ 会議室 15 名受講

4) セーフティオフィサー・レースアドバイザーの派遣

全日本選手権の運営均一化、安全向上を目的に全戦をラウンドするオフィサー2 名を派遣

- ・ ロードレースは「セーフティオフィサー」モトクロスは「レースアドバイザー」※MX は今年から開始
- ・ 競技監督とレースディレクションを構成し、コースの状況、運営について協議し執行

5) メディカル部会活動

- ・ 脳震盪判断基準と発生時のプロトコルを作成し、各大会主催者に配布
- ・ 全日本ロードレースのライダーブリーフィングにて脳震盪への認識を高める為説明を継続実施
- ・ 全種目で負傷者申し送り制度・メディカルパスポート制度を推奨

6) モトクロス安全対策

- ・ 主要競技役員、主催者を集め、モトクロス運営統一セミナーをスポーツランド SUGO の全面協力により、実施。
(2017 年 3 月)
- ・ 選手に対する安全意識とマナー向上の指導、サーキットに対するコース安全性のチェックと改善指導、適正な運営に対する助言を主眼とし、レースアドバイザー制度を導入。元国際 A 級ファクトリー経験のあるライダー2 名を第 2 戦～最終戦まで派遣。
- ・ 違反行為や事故発生時の検証補助、さらに選手への違反・危険行為防止効果を目的とし、映像撮影環境の試験導入。

7) 観客安全対策

- ・ モトクロス競技安全対策の指針に基づき観客安全対策を各主催者に啓蒙・
- ・ エンデューロ主催者にコーステープの安価供給継続
- ・ スノーモビル観客安全対策マニュアルを作成主催者に広く徹底

8) 安全装備の研究

- ・ 競技用装備部会にてエアバッグ式プロテクション義務化に向け海外 2 社ヒアリング

9) セーフティ委員会活動

- ・ サーキットのスポーツ走行における重大事故多発を受け、当該施設担当からヒアリングを実施。
- ・ 公認サーキット担当者を集め、情報共有と共通して取り組むべき課題につて会合を実施
- ・ サーキット公認規則の改定に着手

3. 広報活動

1) オフィシャルホームページ

- 全日本ロードレースおよび全日本モトクロスオフィシャルファンサイトとの情報連携。
- 全日本トライアルのライダー紹介、全日本スーパーモト、全日本エンデューロプロモーションサイトとの相互リンクによる情報提供。
- ネットワークショップ検索システムによる地域サポート窓口店舗情報提供。
- 競技会カレンダー検索を毎週更新、主要競技の結果速報・レポート・写真を掲載。
- 平成 29 年 4 月 1 日より平成 30 年 3 月 31 日までに、3,332,236PV/月平均 277,686PV (昨年 218,006PV) のアクセスを得た。
- Facebook により迅速な情報発信

2) 競技規則書を 26,000 冊作成し競技会員並びに関係者に配布した。

3) メールでの情報発信をライセンス会員向けに月 1 回配信。

4) H29 年 3 月の大阪/東京モーターサイクルショーで MFJ ブースを設け PR 活動を実施

5) フリーペーパー「ライディングリミテッド」を年間 1 回発行。17,000 部作成し、7 月に開催される各種目の日本選手権シリーズをはじめとする主要競技会会場にて観客向けに配布し、後半戦の集客増員を図った。

6) ポスターカレンダー（加盟団体ごとの地域イベントを中心とした内容）作成、ネットワークショップを中心広く配布

7) 全日本ロードレース選手権を中心にシリーズ告知等広報宣伝活動を展開した。

8) ファン会員を募集し、305 名が登録（昨年 257 名）

9) H29 年 3 月東京モーターサイクルショーにて次年度全日本選手権 P R の為、モーターサイクルスポーツ P R コーナーを設け大画面でのレース映像とレーシングマシン展示、中央ステージでのライダートークショーを開催、

10) 専用ホームページ Superbike.jp にて事前告知を中心に展開するとともに一般向け並びにプレス向けのメルマガの配信を行った。※ 3 月～11 月の訪問者数 **1,928,038** 件（昨年 1,791,849 件 3 月～11 月）と増加。

11) 広報部会

毎月定期的に会合を行い以下実施。必要に応じて記者発表会等開催

V. 地方組織

1. 加盟団体運営

- 1) 今期より業務委託費配分方法を変更
- 2) 各加盟団体理事会（6 月～7 月）に日本二普協担当と供に出席し進捗確認
- 3) 12 月 6 日に加盟団体会議を開催し平成 30 年度に向けた方針を説明

2. ネットワークシヨップ

ネットワークシヨップ加盟は 80 店舗（昨年 82 店）と減少

3. 加盟団体ごとの活動状況は以下の通り

地区	会員数	大会数		全日本選手権						Nシヨップ°	
		公認	承認	RD	MX	TR	SN	SM	ED		
北海道	888	48	2	0	0	1	3		1	2	
東北	1,445	57	23	1	4	1	1	2	1	7	
関東	6,742	99	18	3	2	1	1	2	0	25	
中部	2,547	69	24	2	0	1	0	1	1	7	
近畿	2,784	30	6	0	1	1	0	1	0	19	
中国	1,147	63	6	1	1	1	0	2	1	10	
四国	425	17	1	0	0	0	0	0	0	4	
九州	1,478	90	4	2	1	1	0	1	0	6	
全体	合計	17,456	473	84	9	9	7	5	9	4	80
	前年	17,980	462	89	9	9	7	5	9	4	82
	前年比	97%	102%	94%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	98%

VI. 国際交流

世界及びアジアの一員としての MFJ の役割として、海外選手の受け入れ、選手並びに日本代表チーム、事務局員を海外に派遣し、国際交流を促進し、MFJ 並びにアジア地域における人材育成を通じて、モーターサイクルスポーツの活性化を推進した。

- 4月 アジアロードレース第 1 戦マレーシア・ジョホール大会に事務局員を派遣
アジアロードレース第 2 戦タイ・チャンインターナショナルサーキット大会に事務局を派遣
アジアロードレース日本大会打ち合わせを全日本ロードレース第 2 戦時に開催
- 5月 中国・珠海サーキット視察団とともにツインリンクもてぎ及び鈴鹿サーキットの視察を行った。
FIM トライアル世界選手権を栃木県ツインリンクもてぎで開催
- 6月 アジアロードレース選手権第 3 戦鈴鹿大会
- 7月 鈴鹿 8 時間耐久
- 8月 MFJ 東北復興応援ツーリングのため FIM ツーリング員会委員長と共に事務局員を派遣
アジアロードレース選手権第 3 戦インドネシア・セントウル大会に事務局員を派遣
- 9月 アジアロードレース選手権第 4 戦インド・マドラスサーキット大会に事務局員を派遣
トライアル・デ・ナシオンに日本チーム並びに団長を派遣
- 10月 アジア国別対抗ロードレースタイ大会に日本チームを派遣
世界選手権グランプリ ツインリンクもてぎ大会
- 11月 アジア国別対抗ロードレース第 3 戦インド大会に日本チームを派遣
FIM 総会並びに表彰式に会長及び事務局員を派遣
- 12月 アジアロードレース選手権第 6 戦タイ大会に事務局員を派遣
- 1月 FIM 公認車両インスペクション立ち会い予定
- 2月 FIM ロードレースセミナー・タイに参加者を派遣予定
FIM 春季ジュネーブ会議に事務局員を派遣

FIM アジア総会に会長及び事務局員を派遣

3月 FIMコース査察（鈴鹿）立ち会い

Ⅶ. スポーツ安全保険等

1. スポーツ安全協会の『スポーツ安全保険』登録業務並びに競技会での受傷者への手続きを行った。

ライセンス 種目	ライセンス 区分	事故通知				保険請求			
		A1	C	B	計	A1	C	B	計
ロードレース	国際		15		15		13		13
	国内		39		39		34		34
	フレッシュマン		13		13		7		7
	ジュニア	3			3	2			2
	計	3	67	0	70	2	54	0	56
モトクロス	国際A級		21		21		16		16
	国際B級		10		10		10		10
	国内A級	1	8		9	1	6		7
	国内B級	2	15	1	18	2	15	1	18
	ジュニア	9			9	8			8
	P C				0				0
	計	12	54	1	67	11	47	1	59
トライアル	国際A級		4		4		4		4
	国際B級		4		4		3		3
	国内A級		5		5		4		4
	国内B級		7		7		6		6
	ジュニア				0				0
	計	0	20	0	20	0	17	0	17
スノーモビル	S A		3		3		2		2
	S B		1		1		1		1
	ジュニア				0				0
	計	0	4	0	4	0	3	0	3
エンデューロ	国際		4		4		4		4
	国内		12		12		12		12
	計	0	16	0	16	0	16	0	16
スーパーモト	A		7		7		6		6
	B				0				0
	計	0	7	0	7	0	6	0	6
ピットクルー			2		2		2		2
エンジョイ		1	24	2	27	1	22	2	25
競技役員					0				0
2017年度(3月末)		16	194	3	213	14	167	3	184
2016年度		22	215		237	21	199		220
前年比（四捨五入）		73%	90%	-	90%	67%	84%	-	84%

※スポーツ安全保険の加入区分：A1・・・中学生以下 C・・・中学卒業以上～65歳未満 B・・・65歳以上

Ⅷ. 諸会議の開催 (平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)

3月現在

諸会議					
4月	5日	セーフティ委員会	11月	7日	広報部会
	20日	インデューロ委員会		9日	モトクロス委員会
	25日	技術委員会		13日	ロードレース委員会
5月	10日	レーシングスーツ作業部会		15日	ヘルメット作業部会
	16日	トライアル車両・技術公認打合せ		16日	トライアル委員会
	25日	運営財務委員会		17日	技術委員会
	30日	広報部会		21日	スーパーモト委員会
6月	1日	理事会		30日	中央スポーツ委員会
	5日	モトクロスオブネーションズ代表選考委員会		6日	加盟団体会議
	8日	技術委員会		7日	運営財務委員会
	19日	全日本ロードレース作業部会		15日	理事会
7月	20日	評議員会	12月	22日	モトクロス作業部会
	10日	ロードレース委員会		23日	技術委員会
	13日	モトクロス委員会		23日	規律裁定委員会
	18日	スーパーモト委員会		25日	広報部会
	20日	技術委員会		31日	競技用装備部会
	21日	スノーモビル作業部会		1月	1日
25日	広報部会	7日	加盟団体実務者会議		
8月	2日	中央スポーツ委員会	13日		トライアル委員会
	29日	技術委員会	14日		モトクロス作業部会
	30日	広報部会	15日		ロードレース委員会 (PR)
9月	4日	全日本ロードレース作業部会	22日		中央スポーツ委員会
	22日	モトクロス作業部会	2月	1日	運営財務委員会
	29日	トライアル作業部会		6日	技術委員会
10月	2日	広報部会		8日	理事会
	4日	全日本ロードレース作業部会	22日	評議員会	
	5日	競技用装備部会	3月		
	12日	国内規律裁定委員会・聴聞会			
	17日	全日本ロード競技監督セーフティオフィサー会合			
	24日	技術委員会			
	25日	セーフティ委員会・安全対策作業部会			
	26日	モトクロス作業部会			
	31日	インデューロ委員会			

Ⅸ. その他の事業

1. 競技会申請のWEB化
 - ・ 競技会報告システムの第2フェーズに着手 (ポイント集計・開催データ集計)
2. セミナーの開催

競技を円滑に運営する為、全国の主催者より競技監督・車検長等主要オフィシャルを集めセミナーを開催

①ロードレースセミナー：

平成 30 年度 2 月 2 5 日 東京・印刷会館 講師 10 名 受講者 70 名

②モトクロスセミナー：

①平成 30 年 3 月 10 日（土） 広島・広島オフィスセンター 講師 6 名 受講者：26 名

②平成 30 年 3 月 11 日（日） 宮城・スポーツランド SUGO 講師 5 名 受講者：29 名

以上

■平成 29 年度事業報告 附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 30 年 3 月 31 日
一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会